



2020年11月4日

各位

会社名 nms ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 文明
 (コード：2162 東証 JASDAQ)
 問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 河野寿子
 (TEL：03-5333-1711 (代表))

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年8月7日に公表しました、2021年3月期第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,100	百万円 △100	百万円 △300	百万円 △720	円 銭 △43.21
今回修正予想 (B)	26,100	140	△70	△500	△29.98
増減額 (B-A)	—	240	230	220	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期累計)	31,108	276	203	34	1.99

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大による自動車関連分野の減産影響や海外各国・地域におけるロックダウン等、経済活動停滞の影響を受けましたが、第2四半期に入り、中国における経済活動の回復が顕著となり、国内においてもHS事業を中心に半導体・電子部品関連等、繁忙な業種において需要が堅調に推移しています。

一方、EMS事業において、国を越えて人の往来が制限されたことにより、計画していたベトナム拠点やメキシコ拠点における新製品の立ち上げが想定以上に後ろ倒しになる等の影響があったものの、グループ全体で徹底した固定費削減を実行し、利益の確保に努めました。

以上のことから、営業利益は前回発表予想を大幅に上回り、黒字転換する見込です。また、経常利益、四半期純利益についても、営業利益の増加により、前回発表予想に対し、損失額が縮小する見込です。

なお、2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)業績予想に変更はありません。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。